

## 令和3年度 幼児教育研究部 教諭班研究計画

《研究テーマ》 「幼児期に育てたい力」を育む環境や援助の工夫  
～遊びの中にある資質・能力を読みとって～

### 1 研究目標

本市では、幼稚園教育要領に明確化されている育みたい資質・能力や、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の内容を踏まえ、令和元年7月に「幼児期に育てたい力」の見直しを図り、指導資料を改訂した。

教諭班では、これまでも発達の読みとりや環境構成、援助の在り方についての実践や協議を継続して取り組んできた。しかし、目の前の子供の表れだけに追われてしまい、発達をおさえた環境構成や援助に難しさを感じている教師も多い。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全ての研修が中止となった。しかし、各部会での小規模研修を実施し、発達段階に応じた環境や援助、絵画指導などについての協議や情報交換をすることができた。引き続き、感染防止対策をしながらの保育の中で、少人数保育、預かり保育などが増えている現状を踏まえた保育を展開し充実していかなければならない。教育要領で示されている主体的・対話的で深い学びを実現し、子供の資質・能力を捉える力を身に付けるために目の前の子供の実態や発達を「幼児期に育てたい力」に照らし合わせて捉え、環境構成や援助を考えて保育改善を行なっていく必要がある。

そこで、本年度の研究テーマを『「幼児期に育てたい力」を育む環境や援助の工夫～遊びの中にある資質・能力を読みとって～』とし、教師一人一人が、幼児を理解する力を身に付け、確かな育ちにつなげるための環境や援助の工夫について積極的に学び合い、教師の資質・専門性の向上を図りたい。

### 2 研究内容

- (1) 幼児理解に努め、各自が実践研究を行い、「幼児期に育てたい力」を基に育みたい資質・能力を読みとる。さらに環境・援助の在り方を学ぶことにより保育改善につなげる。
- (2) 保育力を高め合うための教材研究や情報交換をする。

### 3 研究方法

#### (1) グループ構成と役割について

ア 教諭班全体を4つのグループに分け、自分の立場、役割に応じた研修をする。希望を募りグループ分けを行う。その際、自園の園長先生と相談し、園の実情に合わせたグループを選択する。

イ グループは次の通りとする。

#### 1 グループ 実践的保育研修[若手職員] (初任者～3年目)

- ・週日案等を持ち寄り、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿などについて学ぶ。  
＜助言者としての園長がサポーターとして参加する＞

#### 2 グループ 学年別保育研修 (学年別・加配教諭含む)

- ・実践資料 (エピソード記録) を中心とした協議をする。
- ・子供の育ち (幼児期に育てたい力の視点で) につながった環境構成や援助方法について探っていく。育まれている資質・能力を、幼児期の終わりまでに育って欲しい姿 (10の姿) で捉え、確かな子供の育ちにつながっているか協議する。

#### 3 グループ 少人数保育研修

- ・市立幼稚園少人数保育カリキュラムの作成に向けて協議する。＜幼保課担当者がサポーターとして参加する＞

#### 4 グループ 預かり保育研修

- ・預かり保育の運営について情報交換をする。

ウ 幼児教育研究部の副班長2名が各グループの研修責任者となり、どの小グループも研修が深まるように進捗状況の確認をしていく。

エ 各グループの司会者と記録者は役員が決め、通年とする。記録者は、資料の事前発送時にグループメンバーの資料の取りまとめを行う。また、グループ協議の内容を研修会終了後、副班長に提出する。

オ 初任者及び37.5H幼稚園教諭は、司会、記録の役割を分担しない。

(2) グループ協議について

ア 第1回

- ・自己紹介やグループでの取組についての共通理解を図る。
- ・第2回・3回研修会の時に話したい自己課題に基づいた協議を行う。  
(視点例：少数保育の工夫、複式学級の週日案、預かり保育の内容、発達支援、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)、など)
- ・教材研究の時に話したい内容、担当月(第2回目か第3回目)、持ち寄る資料を決める。(例：歌・絵画・製作・表現・行事など)

イ 第2回

- ・グループの視点に基づいた協議を行う。
- ・自己課題に基づいた協議を行う。
- ・教材研究(資料持参)や情報交換を行う。

ウ 第3回

- ・自己課題に基づいた協議を行う。
- ・教材研究(資料持参)や情報交換を行う。

(3) 主に2グループの学年別研修で作成する実践資料(エピソード記録)について

ア 実践資料(エピソード記録)はA4用紙で片面作成とし、第2回研修会までにミラ임でグループメンバーに実践資料(エピソード記録)を送信する。

イ 実践資料(エピソード記録)を参考に、子供の姿・教師の関わり・育まれている資質・能力を表記し、主体的・対話的で深い学びが分かるように作成する。

ウ 「幼児期に育てたい力」教職員指導資料、教育課程及び指導計画を持参して協議に活用する。

エ 資料に目を通し、話したい内容をまとめておく。

オ 37.5H幼稚園教諭も話したい内容をまとめておく。エピソード記録は作成しない。

(4) 教材研究について

ア 第2回目又は第3回目にグループで決めた内容の資料を持ち寄り、教材研究や情報交換を行う。教材資料は、各自グループメンバー分を印刷して、研修当日に持参する。

イ 37.5H幼稚園教諭も教材資料は持参する。

4 研究計画

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、日程や内容が変更になることがあります。

回	日 時	内 容	会 場
1	6月9日(水) 14:30~16:30	1 グループ協議 ・自己紹介、自己課題の伝え合い。グループの視点に基づいた協議と共通理解を図る。 ・教材研究、情報交換 2 助言者御指導	浜松市 教育会館
2	7月28日(水) 9:30~12:00	1 グループ協議 ・グループの視点に基づいた協議 ・教材研究、情報交換 2 助言者御指導	浜松市 教育会館
3	10月20日(水) 14:30~16:30	1 グループ協議 ・自己課題に基づいた協議 ・教材研究、情報交換 2 助言者御指導	浜松市 教育会館